

国連防災世界会議に関するアナウンスメント（2014.1）の概要

（国連 I S D R 事務局ホームページより）

イントロダクション

2013年12月20日の国連総会において、第3回国連防災世界会議が2015年3月14日～18日に仙台市で開催されることが、本会議の準備の進め方とともに決議された（A/RES/68/211）。

第3回国連防災世界会議の目的

国連総会の決議にもある通り、第3回国連防災世界会議の目的には以下の5点が含まれる。

- a) 兵庫行動枠組の実施状況のレビューを完了させる
- b) 兵庫行動枠組の実施における各国・地域の戦略・制度及び防災計画を通じて得られた経験、そこから得られる提言並びに関係地域協定を検討する
- c) 2015年以降の防災枠組（ポスト兵庫行動枠組）を採択する。
- d) ポスト兵庫行動枠組の定期的実施状況評価の在り方を決定する。
- e) ポスト兵庫行動枠組実施のためのコミットメントに基づく協力のあり方を特定する。

地域プラットフォームの開催

国連総会では、第3回世界会議の準備プロセスにおける地域調整の重要性が強調されており、地域プラットフォームによるポスト兵庫行動枠組策定への貢献や世界会議への幅広い参加の促進を歓迎している。地域プラットフォームの開催スケジュールは以下の通り（カッコ内はホスト国）。

- 5月5－8日：アフリカ（ナイジェリア）
- 5月27－29日：アメリカ大陸（エクアドル）
- 6月2－4日：太平洋（フィジー）
- 6月10日－12日：アラブ諸国（エジプト）
- 6月23－26日：アジア（タイ、バンコク）
- 6月／7月（日程未定）：ヨーロッパ（ベルギー、防災閣僚級会合）

政府間準備プロセス

10のメンバー国と開催国（日本）によるビューローが運営する政府間準備委員会（プレップコム）が組織される予定である。国連総会は2月中旬にビューローを指名する。プレップコムは、2014年7月14日－15日および11月17日－18日に会合を開く。必要に応じて第3回を仙台で開催する。

プレップコムの活動は以下の通り。

- a) 第3回世界会議のためロジ面、サブ面での準備について検討する。
- b) 第3回世界会議プログラムを承認する
- c) 第3回世界会議における採択手続きに関する規則を提案する
- d) 世界各地からのインプットに基づき、ポスト兵庫行動枠組の草稿を作成する

防災関係の NGO 等は、プレップコムの会合のオブザーバーとなり得る。また、プレップコムの承認に従い世界会議の正式な参加団体ともなり得る。

ポスト兵庫行動枠組に関するアップデート

ポスト兵庫行動枠組の採択は、災害リスクの上昇と災害リスクマネジメントに関する2つの大きな動きが見られる重要な時期に行われる－すなわち、現在議論されている2015年以降の持続可能な開発アジェンダ／目標と、気候変動である。これは2015年以降の世界のアジェンダを包括的で一貫性のある調和の取れたものにする大きな機会である。